2025
4 月

月次　39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第 248 号-①【基準日 2025 年 3 月 31 日】

社長メッセージ



初心に立ち返ることが大切

ありがとう投信株式会社
代表取締役社長　長谷　俊介



皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。4月になり新年度を迎えましたが、いかがお過ごしでしょうか？各地で桜が開花する中、気温が低下し冬に逆戻りしたかのような日々が続いておりましたが、体調を崩されないようにくれぐれもご自愛ください。

さて、先月のマーケットですが、トランプ政権の関税強化策によって、世界的な景気減速懸念が出てきたことなどから米国株を中心に調整して総じて低調なパフォーマンスの1ヶ月となりました。

特に米国株はこれまで大きく上昇していたマグニフィセント7に代表される大型ハイテク株や生成AI半導体関連銘柄を中心に売られて、ナスダックは月間で-8.2%、S&P500は-5.8%、NYダウは-4.2%の下落となりました。一方、欧州株は月の半ばまではウクライナ停戦・和平による復興需要期待、中国の景気回復期待が相場を支えて戻す場面もあり、月末の調整の下げ幅は米国株ほどではありませんでした。日本株についてもトランプ関税発動による悪影響を懸念して、鉄鋼や自動車関連など景気敏感株を中心に月末にかけて大きく調整して、日経平均株価は-4.1%の下落になりました。一方で、新興国株についてはインドや中国株が上昇したこともあり、月末に調整しましたが小幅に上昇して1ヶ月を終えました。また、不確実性の高まりから株式市場が総じて調整する中、金（ゴールド）が買われて月末には史上最高値を更新し、1オンス＝3100ドルの大台を突破しました。為替相場については、ドル円レートは月半ばにやや円高方向に振れましたが月末にはほぼ前月末の水準である1ドル149円台に戻しました。ユーロ円については前月末1ユーロ155円台から円安方向に振れて1ユーロ162円台で月末を迎えました。



そのような中で、ありがとうファンドは月間で-1.8%の下落となりました。米国株ファンドを中心に投資先ファンドが大きく下落する中、金ETFが大幅に上昇したことによって下げ幅を抑制することができました。

今後の見通しですが、米国トランプ大統領の通商・関税政策にマーケットや世界各国が振り回される展開が続きそうです。アメリカが自国第一主義に向かう中、トランプ政権の保護主義的な経済政策はこれまでのグローバル化の流れに逆行するものであり、世界経済が分断されていくリスクが高まってきていると考えられます。

ありがとう投信株式会社　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第 304 号　一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

世界中から安い商品を調達してグローバル化の恩恵を最も受けていた米国の方針転換は、サプライチェーンの混乱だけではなく、あらゆる分野に影響を及ぼし、ある意味でゲームチェンジが行われることになり、日本を含めて世界中の国が大きな影響を受けることになるでしょう。そして、米国にとってもインフレの高止まりや企業収益の悪化等による景気減速、経済の下押しリスクを高めていくことになると思われます。



一方、トランプ大統領は長引くウクライナ戦争の早期停戦・和平を目指してロシアのプーチン大統領と交渉をするなど、米国主導での停戦・和平交渉への具体的な動きが出てきており、停戦や和平がもし実現することになれば、米国一極覇権から多極化への地政学リスクの変化だけでなく、ウクライナ復興需要やロシアへの経済制裁解除など、世界経済や資源・エネルギー価格等にも大きな影響を及ぼすことが予想されます。

今後も世界経済は米国トランプ政権の政策に大きく左右される不確実な状況が継続していくと考えられますので、世界株式市場はボラティリティの高いマーケットになると思われます。

また、昨年まで大きく上昇していた米国株は他の市場に比べて短期的には大きく調整する場面も増えてくると考えられますが、こういう局面でこそ価値ある企業を厳選して長期投資していくことが大切であると考えます。

ありがとうファンドでは、引き続き国際分散投資で世界経済と企業の成長の恩恵を享受しながら、イベントリスクやインフレリスクのヘッジとして金（ゴールド）への分散投資を継続することでリスクを抑制していきたいと考えています。

初心に立ち返ることが大切

新年度になり新生活を始められる方や、春なので何か新しいことを始めたり、チャレンジされたりする方もいらっしゃると思います。年齢を問わず、新しいことを始めたり、チャレンジすることはとても良いことだと思います。

一方で、このタイミングでご自身の資産運用の目的・目標を思い出して、初心に立ち返ってみてはいかがでしょうか。

資産運用を長期で継続していくのは単純で簡単なように見えますが、誰でも実践できるわけではありません。マーケットの値動きに一喜一憂してしまい、必要がないのに売買を繰り返してしまったり、もっとよい投資商品はないかと新商品や人気商品に目移りして乗り換えてしまったりした結果、結局運用成果が思ったほど出なくて止めてしまい、長期で続けられない人が少なくないようです。

昨年スタートした新NISAも非課税メリットにつられて始めたものの、利益が出ていない状況で売却してしまっては非課税の意味がなく、長期で資産運用していくことが大前提になります。資産運用では継続していくことが大切ですが、継続するためには自分の目的・目標を明確にしておくことが大事になってきます。



世界経済は先行き不透明で相場変動の大きなマーケットがしばらく続きそうですが、弊社ではお客様の資産運用の目的・目標の達成に向けて、これからも一緒に伴走していきたいと考えておりますので、今後ともありがとう投信をご愛顧いただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

ありがとう投信株式会社　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第 304 号　一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

積立投資のすすめ！

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

「定期積立サービス」とは
・・・毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていきながら、複利効果でリターンのチャンスとなります。



②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場が良い時も悪い時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。

③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。



タイミングを見計らうのではなく、時間を味方につけていきましょう！

期間	平均取得単価	損益
1年	36,329円	▲1.4%
3年	29,721円	+20.6%
5年	26,881円	+33.3%
10年	20,827円	+72.0%
初回(2004年10月)から	13,437円	+166.6%

投資信託をいつ買えばよいか？とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果が得られます。

＜ご参考＞毎月1万円積立した場合

期間	投資額	評価額
1年	12万円	**11万8349円**
3年	36万円	**43万3987円**
5年	60万円	**79万9730円**
10年	120万円	**206万4337円**
初回(2004年10月)から	246万円	**655万9330円**

2025年3月31日現在(基準価額:35,829円)

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。
※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。
※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

ありがとう投信株式会社　金融商品取引業者　関東財務局長(金商)第 304 号　一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

セミナーのお知らせ

お申し込みは弊社 HP まで♪（https://www.39asset.co.jp/seminar/info/）

セミナータイトル	開催日	開催地	時間	講師
ありがとうファンド 第21期半期運用報告会	4月20日 （日）	札幌	13:30～ 15:30	長谷　俊介･真木　喬敏 （ありがとう投信）
ありがとうファンド 第21期半期運用報告会	4月27日 （日）	福岡	13:30～ 15:30	長谷　俊介 （ありがとう投信）

別紙セミナー案内もご覧いただければと思います。

住所変更手続きのお願い

お引っ越しをされてご住所が変わった場合は、書面でのお手続きが必要となります。

弊社から変更用紙をお送りいたしますので、ご記入･ご捺印のうえ、新しい住所が確認できる本人確認書類･個人番号確認書類を添付してご返送ください。

尚、お急ぎの場合は、弊社のホームページから変更用紙をダウンロードして印刷することもできます。
変更用紙のご請求･ダウンロードは、こちら（https://www.39asset.co.jp/guide/change/）をご覧ください。

「39紹介プログラム」好評実施中！　～この機会にご家族ご友人に資産形成を勧めてみませんか？～

すでに口座をお持ちのお客さまがご友人やご家族をご紹介していただいた場合に、弊社から感謝の気持ちを込めてプレゼント贈呈させていただきます。お客さまのご友人やご家族で、ありがとう投信に興味をお持ちの方がおられましたら、是非ご紹介をお願いいたします。

詳しくはこちら（https://www.39asset.co.jp/service/campaign/shokai/）をご覧ください。



このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

今月の FP 情報コラム

弊社FPが家計に役立つ様々な情報を毎月発信していきます！
皆さまの金融リテラシー向上の一助にもなれば幸いです。

ローンやクレジットカードの審査に影響する「信用情報」とは？ スマホや奨学金も注意！



私たちは、買い物のためにクレジットカードや後払いアプリを使ったり、家や車を購入するためにローンを組んだりします。このような際、重要になるのがその人の信用情報です。日常生活を取り巻く様々なことに大きく関わる「信用」について解説していきます。

信用情報とは

信用情報とは、ローンやクレジットカード、割賦販売、奨学金などに申込み、契約をした人の属性や契約内容、利用状況に関する情報のことです。信用情報は、国が指定する信用情報機関に登録されています。

クレジットカード会社や信販会社、消費者金融、保険会社、銀行などは、1 つ以上の信用情報機関に加盟しており、顧客の個人情報やカードの利用状況などの情報を信用情報機関に提供します。同時に、ローンやクレジットカードの申込みなどがあった場合は、審査の過程で信用情報機関に照会をかけ、申込者の信用情報の提供を受けるしくみになっています。

信用情報として登録される主な内容



● 本人を特定する情報

氏名や住所、電話番号、生年月日、勤務先、本人が提出した本人確認書類の内容など、本人を特定する基本的な情報になります。

● ローンやクレジットカードなどの利用状況に関する情報

ローンやクレジットカードなどの利用状況も、信用情報として記録されます。具体的には、契約内容に関する情報（種類、契約日、貸付金額）、返済状況に関する情報（入金日、ローン残高、延滞の有無、完済日）などが登録されています。利用状況には「申込みに関する情報」も含まれるので、ローンやクレジットカードの審査に通らなかった場合でも、申込みの履歴は登録されます。

● 取引事実に関する情報

ローンやクレジットの契約中の遅延や延滞、債務整理、強制解約、代位弁済などの事故情報も登録されます。一般的に「ブラックリストに載る」という状態です。

各情報には信用情報機関ごと、情報の内容ごとに一定の保存期限が設けられています。契約中だけでなく、ローンを完済、分割払いの支払いを完了するなど契約終了しても数年経たなければ事故情報は消えません。

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

何をしたらブラックリストに載るの？

● 延滞や滞納が続いている

61 日以上の返済遅延や 3 ヵ月連続の延滞があると、事故情報として登録されることが一般的です。カードローン・消費者金融などでの借入れ、クレジットカードの分割払い、リボ払いの毎月の返済や携帯電話の分割払いの遅れなども含まれます。特に携帯電話の端末代金の分割支払い（割賦販売の支払い）は注意が必要です。携帯電話サービスの会社が一時的に代金を立て替える代わりに、信用情報への履歴の記録が義務付けられているため、支払いが滞るとブラックリスト入りする可能性があります。また、家賃保証会社を利用している場合やクレジットカードで支払いっている家賃、奨学金の延滞情報も登録されるので気をつけましょう。

● 任意整理や自己破産などの債務整理をした



自己破産・任意整理・個人再生（民事再生）などの法的な手続きを行い、借金を減額したり、免除したりする手段をとった場合、その情報が一定期間、信用情報に登録されます。

● 短期間に複数のローンやクレジットカードの申込みをした

短期間に複数のローンやクレジットカードの申込み（多重申込）をすると信用情報に登録される可能性があります。申込みの情報自体は事故情報ではありませんが　多重申込情報が載っていると返済能力や犯罪行為などを疑われてしまい、審査通過が難しくなることがあります。ローンやクレジットカードの審査が通らなかった情報は半年ほど登録されているので、断られた場合は 6 ヵ月から 1 年ぐらい経ってから申込むようにしましょう。

ブラックリストに載ってしまったらどうなる？

● クレジットカードの利用が止められる

クレジットカード会社は、カードの新規作成や更新時に信用情報機関の情報を用いて審査を行うため、事故情報があると新しいカードの発行や今持っているカードの利用ができなくなる可能性があります。家賃や公共料金の支払い、買い物にクレジットカードを使用している場合は、別の決済手段への切り替えが必要です。なお、デビットカードや現金チャージ型の電子マネーなどは利用可能です。

● 新たなローンが組めなくなる



ブラックリストに載っている間は信用力が低いとみなされ、住宅ローンやマイカーローンなどの審査に通らず、新しくローンを組むことが難しくなります。ローンを利用することが一般的な不動産や車を購入しづらくなるでしょう。ローンだけでなく、キャッシングなどで借金することも同様に難しくなります。

● ローンや奨学金の保証人になれない

家族や友人などがローンを組もうとしたとき、その保証人になろうとしても、なれない可能性が高いでしょう。銀行からお金を借りる場合はもちろん、子どもの奨学金の保証人になることもできません。

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

● **携帯電話の分割購入ができない**

携帯電話を購入する際も、信用情報を確認されるため事故情報があると、分割払い(割賦払い)によって携帯電話を購入することができなくなる可能性が高くなります。

● **賃貸住宅の入居審査に通らない**

賃貸物件の契約の際に、家賃保証会社を利用して申込む場合には注意が必要です。保証会社は入居審査の際、信用情報機関への照会を行います。その結果、事故情報があると入居審査に通らない可能性があります。

自分の信用情報を確かめる方法

現在日本で信用情報を管理している機関は3つあります。いずれの機関にも「本人開示制度」がありますので、ご自身で開示請求の手続をすれば、自分の信用情報を確認することができます。詳しくは各信用情報機関でご確認ください。

ICC(日本信用情報機構) https://www.jicc.co.jp/
CIC(株式会社シー・アイ・シー) https://www.cic.co.jp/
KSC(全国銀行個人信用情報センター) https://www.zenginkyo.or.jp/pcic/

「引き落とし口座への入金をうっかり忘れて、引き落としできなかった」といった失敗はよくありますが、速やかに対応すれば事故情報とはなりません。しかし、「大丈夫だろう」と何ヶ月も延滞した場合、ブラックリストに一定期間登録されるため賃貸契約ができなかったり、必要な資金が借りられなかったりと、将来の生活や計画に大きな影響を及ぼすリスクがあります。無理な借入れやローンをしないことがこのような不利益を避ける重要なポイントとなります。「借りたものはきちんと返す」に越したことはないですね。



このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

ありがとうの本棚



弊社役職員が最近読んだ本を紹介させていただくコーナーです。
資産運用や投資、金融や経済全般に関わらず様々な書籍を幅広く取り上げていきます。

～今月の一冊～

Twitter から X へ 世界から青い鳥が消えた日　ジャック・ドーシーからイーロン・マスクへ、炎上投稿、黒字化、買収をめぐる成功と失敗のすべて 単行本（ソフトカバー）
- 2024/11/18 カート・ワグナー（原著），鈴木 ファストアーベント 理恵（翻訳）



2023 年「Twitter」の名称変更は、世界中の Twitter ユーザーをパニックに陥れました。利用者の多い日本でも大きな話題となったため、印象に残っている方も多いのではないでしょうか。本書は 150 人以上の関係者からのインタビューを基に、Twitter の創業者であるジャック・ドーシー氏の CEO 時代から、イーロン・マスク氏に買収され、X になるまでの波乱に満ちたバックストーリーが綴られています。

ジャック・ドーシー氏は「個人が同時に多人数と簡単にコミュニケーションできる」アイデアを思いつき Twitter を考案し、「言論の自由の砦」にしたいと考えていました。しかし、広告主と株主は悪質投稿の検閲やアカウントの停止を求め、2021 年 Twitter 社はドナルド・トランプ氏のアカウントを凍結しました。これにより「広告主・株主からの要求に応えて悪質投稿を取り締まるべきか」、「言論の自由を最大限尊重すべきか」の選択を迫られていきます。このような Twitter というプロダクトおよび企業に対してのドーシー氏の苦悩が描かれています。こうした苦悩の中、ドーシー氏は敬愛するシリコンバレーの鬼才イーロン・マスク氏に助けを求めました。マスク氏による買収以降、X として再出発を図りますが、マスク氏による新たな挑戦や改革の数々で会社は大混乱に陥っていきます。

ドーシー氏が Twitter を手放した理由や経緯、単独で様々な決断を下し、ワンマン体制を築いたマスク氏と取締役会・社員たちとの攻防などの背景がわかり、現代社会における情報伝達の複雑さやソーシャルメディアの影響力について考えさせられる一冊です。また、米トランプ政権で要職を担うマスク氏がどう組織を運営するか、その一端を垣間見ることができるかもしれません。

毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引落し口座変更】	【定期の引落し金額を変更】 【定期引落しを中止】	【引落日】	【買付申込日】	【約定日】 （ファンドの購入日）
2025年 4月分	3月5日（水）	3月26日（水）	4月7日（月）	4月15日（火）	4月17日（木）
2025年 5月分	4月3日（木）	4月22日（火）	5月7日（水）	5月15日（木）	5月19日（月）
2025年 6月分	5月1日（木）	5月27日（火）	6月6日（金）	6月16日（月）	6月18日（水）
2025年 7月分	6月5日（木）	6月25日（水）	7月7日（月）	7月15日（火）	7月17日（木）

ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

4月18日（金）	グッド・フライデー	ニューヨーク・ルクセンブルグ・ロンドン	4月21日（月）	イースター・マンデー	ルクセンブルグ・ロンドン・アイルランド
5月1日（木）	労働者の日	ルクセンブルグ	5月9日（金）	ヨーロッパの日	ルクセンブルグ
5月26日（月）	戦没者記念日／銀行休業日	ニューヨーク／ロンドン	5月29日（木）	キリスト昇天祭	ルクセンブルグ

ありがとう投信株式会社　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第 304 号　一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99%(税抜 0.9%)以内の率を乗じて得た額とします。 ［実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.40%±0.2%(概算)］ ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧下さい。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社　カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9　フリーコール　0800-888-3900】

■レポートで使用している指数・為替データの注記：　騰落率は、ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。
※資料に記載されている各国・地域市場の指数は他に断りの無い限り以下の指数を使用しています。
【日本株】→FactSet Market Indices Japan　配当込み(税引き前配当再投資)
【世界株】→FactSet Market Indices World　配当込み(税引き前配当再投資)
【米国株】→FactSet Market Indices United States　配当込み(税引き前配当再投資)
【欧州株】→FactSet Market Indices Europe　配当込み(税引き前配当再投資)
【新興国株】→FactSet Market Indices Emerging　配当込み(税引き前配当再投資)

■R&I ファンド大賞について
R＆Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR＆Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR＆Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

＜免責事項｜Disclaimer＞
リフィニティブ・リッパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。
選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リッパー・リーダー・レーティング)システム」」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リッパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。



ありがとうファンド
第21期半期運用報告会

3月より全国で半期運用報告会を開催いたします！

ありがとうファンドはおかげさまで３月３日に第21期中間決算を迎えました。
これも皆さまのご支援の賜物であると感謝申し上げます。つきましては、第21期半期運用報告会を3月より全国6都市で開催いたします！
半期運用報告会では第21期半期運用報告と今後の見通し、運用方針について詳しくご報告させて頂きます。
是非この機会にご参加頂ければ幸いです。皆様のご参加をお待ちしております！

東京
2025年3月16日（日）10:00～12:00
ありがとう投信本社３F

仙台
2025年3月20日(木・祝)13:30～15:30
仙都会館７F-A

名古屋
2025年3月29日（土）13:30～15:30
ウインクあいち（愛知県産業労働センター）　会議室1305

大阪
2025年3月30日（日）13:30～15:30
大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)
セミナー室２

札幌
2025年4月20日（日）13:30～15:30
かでる２．７(北海道立道民活動振興センター)1010会議室

福岡
2025年4月27日（日）13:30～15:30
アクロス福岡604



代表取締役社長
長谷俊介



ファンドマネージャー
真木喬敏

お申込みは、お電話・ホームページからどうぞ
URL:https://www.39asset.co.jp/seminar/info/
フリーコール:0800-888-3900

39 ありがとう投信
Arigato Asset Management inc.

2025 年 4 月吉日
ありがとう投信株式会社
代表取締役社長　長谷俊介

「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI」に係る弊社の実績について（2025 年 3 月末基準）

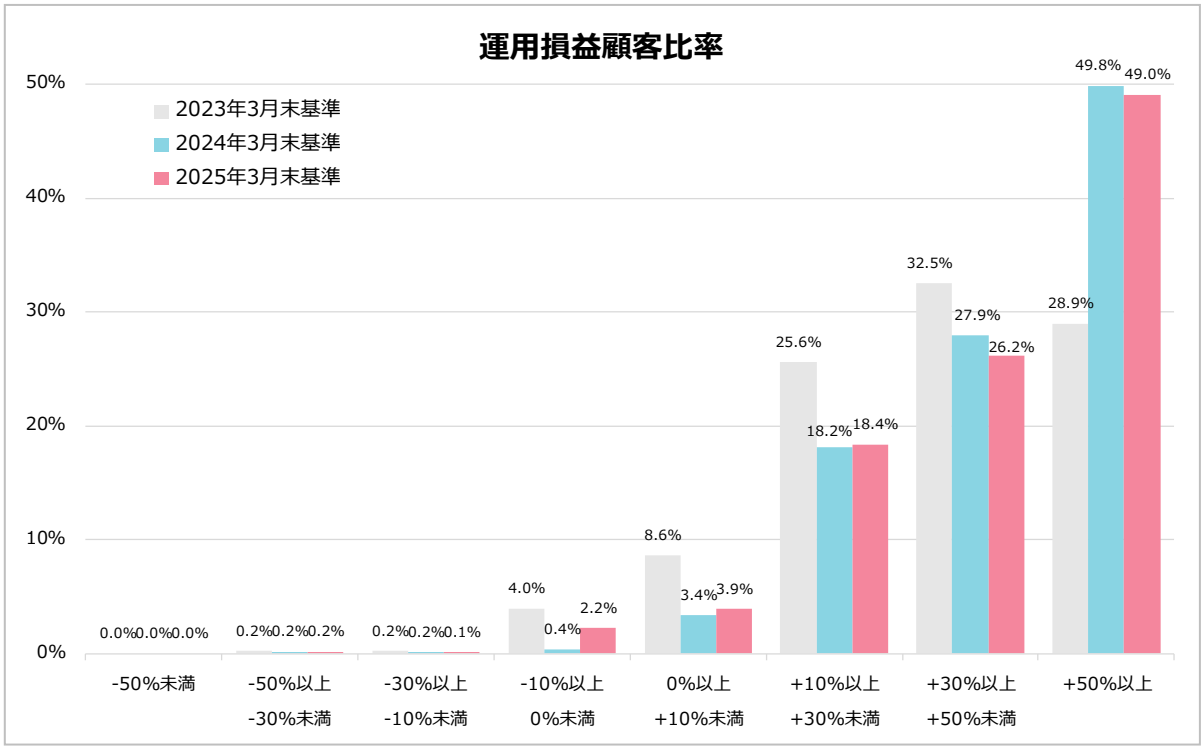
金融庁が公表を行った「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI」について、弊社の実績（2025 年 3 月末基準）をご報告申し上げます。

※共通 KPI の定義・算出方法は金融庁ホームページをご参照ください。（https://www.fsa.go.jp/news/30/sonota/20180629-3/02.pdf）

■投資信託の運用損益別顧客比率

お客様にご購入いただいたありがとうファンドの運用損益状況を損益区分ごとに公表しております。ありがとうファンドを購入されて資産運用されているお客様のうち、**97.4%の方が運用損益でプラス**となっております。2025 年 3 月末、2024 年 3 月末、2023 年 3 月末の実績を併記しています。

運用損益がプラスの顧客の割合	
2025 年 3 月末基準	**97.4%**
2024 年 3 月末基準	99.3%
2023 年 3 月末基準	95.6%



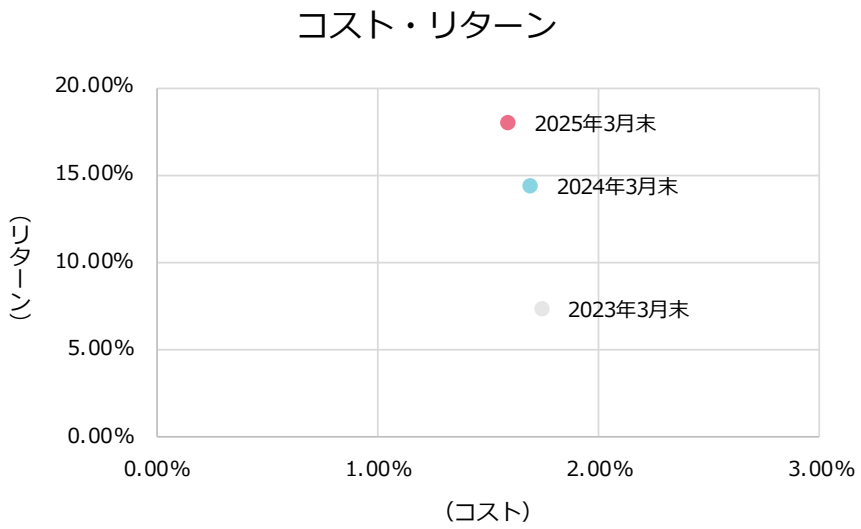
※2025 年 3 月末時点の投信残高に対するトータルリターンで算出。2004 年 9 月 1 日のありがとうファンド設定日からの 2025 年 3 月末までの全期間を対象。

※投資信託のトータルリターン通知制度に基づくトータルリターンを基準日時点の評価金額で除して算出した各損益率の分布。対象のお客様全体を 100%として、それぞれの運用損益に該当する顧客数比率をグラフ化。

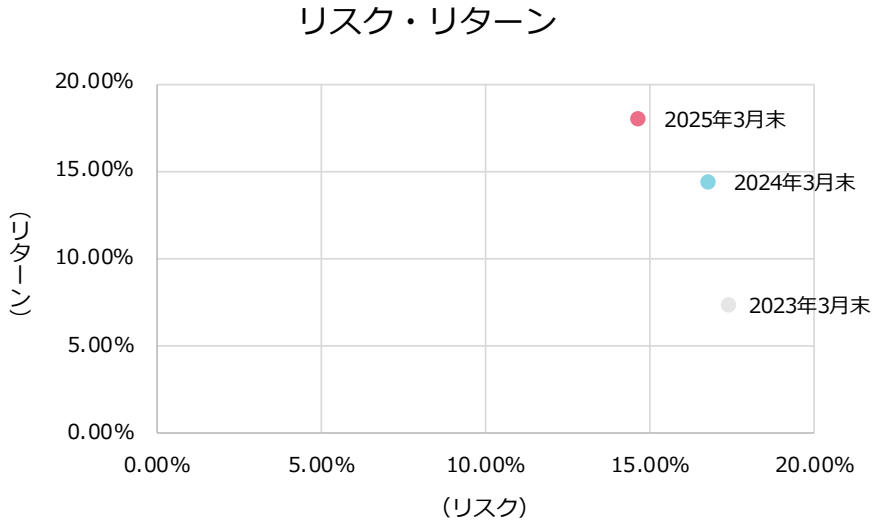
■投資信託預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン

お客様にご購入いただいたありがとうファンドのコストに対するリターンおよびリスクに対するリターンを公表しております。（弊社はありがとうファンド 1 本のみのため残高加重平均値は同一の値となります）

（参考）コスト・リターン／リスク・リターンの実績推移

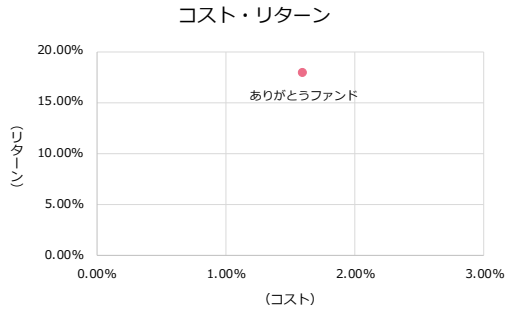


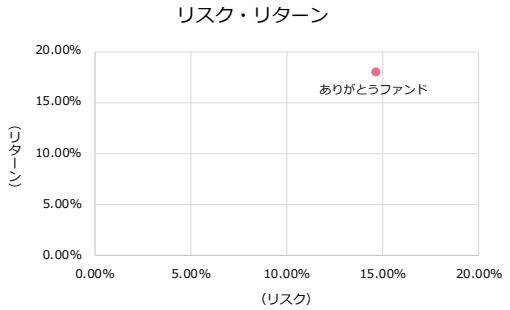
	コスト	リターン
2025 年 3 月末	**1.60%**	**17.87%**
2024 年 3 月末	1.70%	14.28%
2023 年 3 月末	1.75%	7.26%



	リスク	リターン
2025 年 3 月末	**14.71%**	**17.87%**
2024 年 3 月末	16.83%	14.28%
2023 年 3 月末	17.49%	7.26%

【2025年３月末】

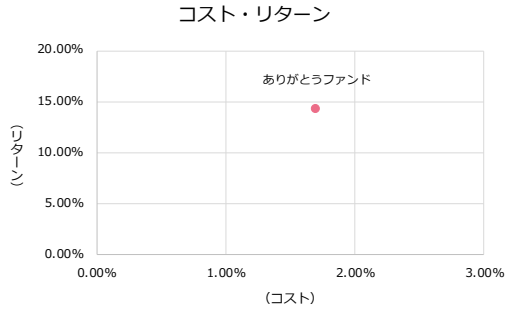


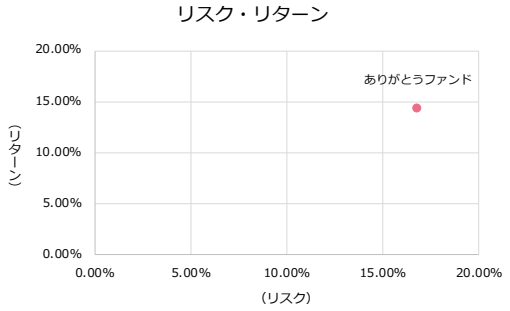


銘柄名	コスト	リターン
ありがとうファンド	1.60%	17.87%
残高加重平均値	1.60%	17.87%

銘柄名	リスク	リターン
ありがとうファンド	14.71%	17.87%
残高加重平均値	14.71%	17.87%

【2024年３月末】

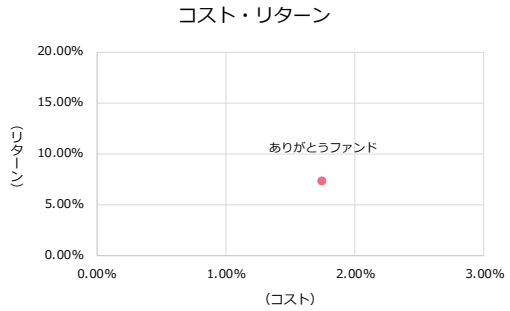


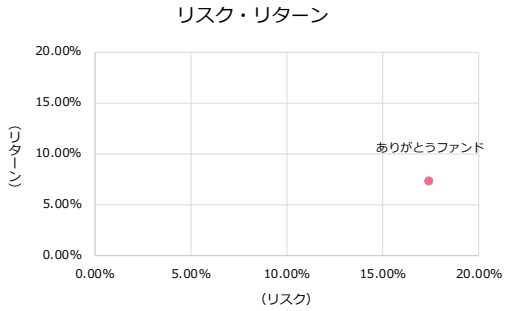


銘柄名	コスト	リターン
ありがとうファンド	1.70%	14.28%
残高加重平均値	1.70%	14.28%

銘柄名	リスク	リターン
ありがとうファンド	16.83%	14.28%
残高加重平均値	16.83%	14.28%

【2023年３月末】





銘柄名	コスト	リターン
ありがとうファンド	1.75%	7.26%
残高加重平均値	1.75%	7.26%

銘柄名	リスク	リターン
ありがとうファンド	17.49%	7.26%
残高加重平均値	17.49%	7.26%

※リターン：過去５年間の年率リターン（年率換算）
※リスク：過去５年間の年率リスク（年率換算）
※コスト：目論見書に書かれている実質的な信託報酬率の上限値としております。販売手数料はかかりません。

＜本件に関するお問合せ＞
ありがとう投信株式会社　カスタマーサービス部
フリーコール:0800-888-3900（9:30-17:00 土日祝・年末年始を除く）

ありがとう投信
Arigato Asset Management inc.